

日本学生科学賞 学校賞歴代受賞学校一覧(第2回～45回)

受賞年度		中学の部					高校の部				
		順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者
第2回	1958年	1位	神奈川県	伊勢原町立伊勢原中学校	あこがれの科学クラブ	大橋徹 ほか14人	1位	東京都	都立立川高校	十一年太陽黒点観測報告	笠原三紀夫
		2位	山形県	米沢市立第二中学校	ベニバナの栽培と加工	香華クラブ・石田周介 ほか18人	2位	千葉県	県立千葉第二高校	「ヒキガエルはい(胚)子の器官発生について」「パン酵母に関する生理学的研究」 「油脂の水素添加反応の研究」	生物クラブ 化学クラブ
第3回	1959年	1位	宮城県	鳴子町立鳴子中学校 ほか35校	共同観測による五か年間の気象統計とその考察の一部	大崎教育研究会・理科研究部 1377人	1位	新潟県	県立新井高校	野尻湖の総合研究	野尻湖研究グループ・中村正男 ほか88人
		2位	神奈川県	小田原市立城南中学校	郷土の自然を探る	科学部 61人				第三紀、第四紀の古地磁気学的研究	地学クラブ
第4回	1960年	1位	千葉県	長生村立本納中学校	本納町の気象の地形的特徴および天気の変化と気象要素との関係	地学クラブ	1位	石川県	県立金沢泉丘高校	金属の溶解	化学クラブ・Aグループ
										乾性油の研究	化学クラブ・Bグループ
		2位	徳島県	日和佐町立日和佐中学校	ウミガメの研究	科学部	2位	山形県	酒田市立高校	庄内砂丘地における植物群落と動物の生態について	理科部
第5回	1961年	1位	神奈川県	川崎市立宮内中学校	多摩川をしらべる	科学クラブ 38人	1位	北海道	道立旭川西高校	ハイマツの研究(第二報)	生物部・植物班 42人
		2位	愛知県	西尾市立鶴城中学校	西尾茶を害するハマキムシ類の生態学的研究	科学クラブ 17人	2位	山口県	県立山口高校	エコー人工衛星の研究	天文部 7人
第6回	1962年	1位	宮城県	沼辺村立沼辺中学校	じん(迅)速酸素測定装置の製作とその応用について	科学クラブ・木幡正博 ほか9人	1位	大阪府	府立成城工業高校	アンモニア錯イオンの研究	小茂田治 ほか2人
										塩化マグネシウム結晶の熱分解	野路政敏、山口輝久
第7回	1963年	1位	山形県	米沢市立第二中学校	郷土の植物染料について(ベニバナ・アイ・カリヤス)	香華クラブ・湯沢向 ほか10人	1位	栃木県	県立那須農業高校	ベーター線の後方散乱による厚さ計	浜正治、衣笠保
										電気回路を利用した重力の加速度の測定	古沢隆
第7回	1963年	2位	群馬県	月夜野町立第一中学校	上越南部の自然の研究	理科クラブ・原沢利雄 ほか26人	準学校賞	京都府	私立精華女子高校	吸血害虫プユに関する研究	プユ研究グループ・浅田美恵子 ほか10人
								宮城県	県立小牛田農林高校	江合川洪水の総合的研究	地学班・佐々木敏雄 ほか12人
第7回	1963年	1位	山形県	米沢市立第二中学校	郷土の植物染料について(ベニバナ・アイ・カリヤス)	香華クラブ・湯沢向 ほか10人	1位	栃木県	県立那須農業高校	栃木県内における浅層地下水および温泉の研究	地学クラブ・太田原孝雄 ほか49人

日本学生科学賞 学校賞歴代受賞学校一覧(第2回～45回)

受賞年度	中学の部						高校の部				
	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	
第8回	1964年	2位	千葉県	夷隅町立国吉中学校	郷土の野鳥の観察と保護の問題	愛鳥クラブ・伊大和芳紀 ほか11人	2位	佐賀県	県立佐賀高校	佐賀県の離島における生物相について— その五(神集島の生物相)	生物部・末次永昭 ほか20人
	1位	長野県	大町市立第一中学校	仁科三湖の生物研究	生物クラブ・荒山源治 ほか12人	1位	青森県	県立名久井農業高校	農業気象災害の研究	気象班・農業気象災害 研究グループ・田中健 治 ほか2人	生物クラブ・遺伝研究 班・竹下久由 ほか14 佐々木京子
第9回		2位	茨城県	土浦市立土浦第四中学校	天気図分析による本校の気象について	気象クラブ・奥井富雄 ほか5人	2位	島根県	県立安来高校	安来地方の野生マウスの遺伝研究	生物クラブ・遺伝研究 班・竹下久由 ほか14 佐々木京子
		1位	富山県	上市町立上市中学校	気中微生物の繁殖に関する研究	科学クラブ・石坂雅昭 ほか30人(松井信 ほか5人)	1位	京都府	私立精華女子高校	ツクツクホウシの鳴き方に関する研究	木ノ村美津子
		2位	-	-	-	-	2位	-	-	タンポポに関する研究	高野真理子、乾福子
第10回	1966年	1位	大分県	別府市立中部中学校	マルバアサガオの研究	科学クラブ・田原孝子 ほか43人	1位	山口県	県立大嶺高校	秋吉台地域の洞穴動物の研究	生物部・田中真悟 ほか34人
	2位	北海道	旭川市立聖園中学校	葉の色の変化についての研究—植物 色素の研究・第五報	科学クラブ化学班・富田 政志 ほか22人	2位	千葉県	県立船橋高校	模型水路による曲流の研究	地学クラブ・鈴木良人 ほか29人	
第11回	1967年	1位	宮城県	仙台市立三条中学校	夏の流星群観測レポート及びその考 察(ペルセウス座流星群を中心に)	犬飼恵 ほか7人	1位	群馬県	県立高崎女子高校、 前橋市立女子高校	群馬県内利根川水系の地球化学的研究 (Ⅱ)	高崎女子高化学部・高 橋由起子 ほか27人、 前橋市立女子高自然 科学部・大塚英利子 採集部トンボ班・横田和 義 ほか34人
	2位	-	-	-	-	2位	埼玉県	県立秩父農工高校	ムカシトンボを中心としたトンボ類の研究	内海早苗	
第12回	1968年	1位	山梨県	甲府市立南西中学	七里岩台地と火山灰層の研究	地学クラブ・河野庄司 ほか28人	1位	宮城県	県立小牛田農林高校	郷土小牛田地方の気象	地学班・佐々木真悦 ほか12人
	2位	兵庫県	神戸市立飛松中学校	花の研究	理科クラブ・村井誠子 ほか19人	2位	山形県	酒田市立酒田中央高校	水田地帯におけるミズムシ(甲殻類)の生 活史	第二理科部・斉藤久子 ほか30人	
第13回	1969年	1位	和歌山県	金屋町立鳥屋城中学校	流星の継続研究	天文部・垣内永次口 ほか26人	1位	栃木県	県立宇都宮女子高校	オオショウジョウバエの変異と遺伝の研究	生物クラブ・戸野塚幸 子 ほか13人
	2位	福島県	会津若松市立第一中学校	ナメクジの研究	生物クラブ・渡辺勲口 ほか10人	2位	青森県	県立青森西高校	干渉による銅板の着色	化学班・阿保恵子 ほか2人	
	2位	福島県	会津若松市立第一中学校	セミの研究	石川祐紀子						
第14回	1970年	1位	香川県	坂出市立岩黒中学校	クマゼミの研究	科学クラブ・岩中繁男 ほか9人	1位	群馬県	県立高崎高校、県立 伊勢崎女子高校、高 崎市立女子高校	高崎市西方に分布する板鼻層の研究— 特に堆積サイクルについて—	高崎高地学部23人、 伊勢崎女子高地学部1 4人、高崎市立女子高 地学部14人
	2位	北海道	北海道教育大付属旭 川中学校	古代アイヌの染色法の研究(第二報)	科学クラブ化学班・秋田 俊子 ほか11人	2位	山形県	県立酒田東高校	ヤモリの研究	生物クラブ・堀田俊哉 ほか20人	
第15回	1971年	1位	愛知県	西尾市立西尾中学校	ホテイアオイの研究	生物クラブ・小野内哲司 ほか16人	1位	山形県	県立酒田西高校	月山火山の地球科学的研究	理化クラブ・森谷秀子 ほか24人

日本学生科学賞 学校賞歴代受賞学校一覧(第2回～45回)

受賞年度	中学の部						高校の部				
	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	
	2位	栃木県	栃木市立栃木南中学校	巴波川とその周辺の水質(第二報)	科学クラブ・福田哲也 ほか22人	2位	埼玉県	県立秩父農工高校	ヒメビウンカの生態と防除に関する研究	採集部ヒメビウンカ 班・太幡啓 ほか6人	
									埼玉県秩父荒川水系における水生昆虫 の研究	採集部水生昆虫班・浅 見英雄 ほか13人	
第16回 1972年	1位	広島県	世羅町立世羅中学校	樹木の年輪の研究	科学クラブ・上羽場順子 ほか2人	1位	北海道	道立小樽潮陵高校	気柱の共鳴の研究	物理部・加藤大明 ほか 18人	
									単振り子の研究	物理部・重友雅敏 ほか 19人	
									TLCによるアミノ酸の検出—コーヒーおよ びスズランへの応用—	化学部・秋野利郎 ほか 4人	
									TLCによる重金属の検出とその応用	化学部・渡辺孝文 ほか 9人	
	2位	長野県	飯田市立緑ヶ丘中学校	飯田盆地を含む郷土の気候(小気候)	気象クラブ・近藤剛彦 ほか25人	2位	宮城県	県立白石工業高校	やぶかんぞうの根の成分について	科学部工化班・高橋等 ほか5人	
								マンガンの定量法について	科学部工化班・菅野保 広 ほか5人		
第17回 1973年	1位	長野県	伊那市立伊那中学校	伊那谷段丘崖下にみられる湧水の研究	化学クラブ・西村伸太郎 ほか20人	1位	山形県	酒田市立酒田中央高校	高密度がカブトエビの自然固体部に影響 を及ぼす可能性について	第二理科部・菅原まゆ み ほか27人	
	2位	滋賀県	野洲町立野洲中学校	モウセンゴケの生理・生態学的研究	科学部・長谷川浩ほか2 2人	2位	富山県	県立砺波高校	付着気泡の消滅に関する研究	物理クラブ・中山登 ほか 7人	
第18回 1974年	1位	神奈川県	横浜市立新田中学校	学区に分布する蚊の生態研究(トラフ カクイカの生態と天敵としての研究ほか)	科学部・角田潔 ほか1 2人	1位	新潟県	県立柏崎高校	等脚甲殻類フナムシの研究Ⅱ	藍沢洋一 ほか18人	
	2位	神奈川県	川崎市立宮内中学校	関東ロームの色の研究	科学部・小野沢一実 ほか 9人	2位	大阪府	私立愛泉高校	アンチオキシダントの研究	理化クラブ・杉原香代 子 ほか15人	
第19回 1975年	1位	愛媛県	津島町立津島中学校	岩松川河口を中心とした生物と環境	科学クラブ生物研究班・ 山崎淳 ほか9人	1位	山口県	県立山口中央高校	コクゾウムシの行動について	生物部・鮎川友子 ほか 19人	
	2位	茨城県	水戸市立国田中学校	水戸市国田におけるホタルの生態研究	郷土自然クラブホタル 班・小坪隆浩 ほか11 人 全校生協力	2位	愛媛県	県立松山南高校	直流ブザーの振動(過度現象の研究)	物理部・梅木美江 ほか 12人	
第20回 1976年	1位	長野県	松本市立鎌田中学校	チョウの鱗粉の研究	生物クラブ・池田裕一 ほか6人	1位	大阪府	大阪市立都島工業高校	棒振り子について	理科研究部・金辺忠 ほか17人	
								スーパーボールのはね返り方について			
	2位	-				2位	鳥取県	県立鳥取工業高校	産業廃棄物の効果的利用法	技術研究部・岡垣広之 ほか2人	
第21回 1977年	1位	和歌山県	金屋町立金屋中学校	流星を追って	天文クラブ・小楨克也 ほか30人	1位	埼玉県	県立秩父農工高校	ガロアムシの生態に関する研究	採集部ガロアムシ班・ 小池広行 ほか6人	
	2位	香川県	坂出市立東部中学校	先人のいい伝えにヒントを得た『吸着の 研究』	科学部・横井ゆかり ほか 6人	2位	大阪府	大阪市立都島工業高校	ヤジロベエの動きについて 弦の振動について	理科研究部・杉浦広和 ほか28人	
第22回 1978年	1位	長野県	茅野市立長峰中学校	水生昆虫・ヤマトカワゲラの生態・形態 の研究	水生昆虫部・浜壮一 ほか 17人	1位	長崎県	県立大村園芸高校	花粉媒介昆虫シマハナアブの大量増殖と 利用に関する研究	作物保護班・酒井清光 ほか8人	
	2位	神奈川県	川崎市立宮内中学校	波についての研究	科学部・田中大介 ほか 18人	2位	宮城県	県立岩出山高校	薄層クロマトグラフィーの改良と応用	化学班・中村和美 ほか 2人	

日本学生科学賞 学校賞歴代受賞学校一覧(第2回～45回)

受賞年度	中学の部						高校の部				
	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	
第23回 1979年	1位	三重県	四日市市立常磐中学校	セイタカアワダチソウの基礎的研究 カイガラムシの研究	理科クラブ22人	1位	長崎県	県立大村園芸高校	花粉媒介こん虫シマハナアブの大量増殖 と利用に関する研究	横山敏朗 ほか7人	
	2位	愛媛県	津島町立津島中学校	太陽炉の製薬とその利用の研究	科学部 10人	2位	栃木県	県立烏山高校	那珂川水系水質調査研究	化学部 20人	
第24回 1980年	1位	新潟県	小千谷市立吉谷中学校	カワニナの生態研究Ⅶ(総集編)	科学部・石田貴秋 ほか 5人	1位	静岡県	県立浜松北高校	静岡県西部の洪積台地の研究 その2	地学クラブ・本康宗信 ほか21人	
	2位	愛知県	刈谷市立刈谷東中学校	ハンググライダーの研究 はしごおもちゃの中に不思議さを見た	科学部・石川佳之 ほか 3人 科学部・早川達典 ほか 3人	2位	山梨県	県立巨摩高校	楡形山の蟻(あり) その1	自然科学部生物班・米 山和穂 ほか26人	
第25回 1981年	1位	滋賀県	木之本町立杉野中学校	杉野における大型哺乳(ほ)乳類の実態 調査	大型哺乳類研究班・松 本長治 ほか7人	1位	宮崎県	県立小林高校	九州南部地域動物方言調査報告書	生物部・東由美子 ほか 29人	
	2位	大阪府	和泉市立南松尾中学校	松尾川の生物環境調査—松尾川は生 きているか	自然科学部・松阪佐千 子 ほか9人	2位	愛知県	県立岡崎高校	触媒の研究第二報—イオン交換樹脂の 触媒作用について	理科部化学班・河村マ ヤ ほか7人	
第26回 1982年	1位	愛知県	刈谷市立富士松中学校	キュウリがヒョウタン形に変形するのは	理科部・近藤和正 ほか 5人	1位	岩手県	県立種市高校	陸中海岸北部地域の海岸段丘	日当るみ子 ほか21人	
				落花生という名前の由縁							
				雨の化石は本当にあるのか							
	2位	広島県	世羅町立世羅西中学校	紙づくりの研究	小林輝美 ほか17人	2位	静岡県	浜松市立高校	静岡県全域の底生動物の分布と環境条 件	生物クラブ底生動物 班・奥井恵子 ほか7人	
第27回 1983年	1位	愛知県	刈谷市立刈谷南中学校	花粉の研究・第3報—雑種ができるの をどうやって防いでいるか	理科部・猪塚朋子 ほか 27人	1位	大分県	県立中津北高校	広告板はなぜ回る	物理クラブ・中山登 ほか 7人	
				カマキリの捕食行動を探る—なぜ虫を 正確に捕食できるのか							
				「メダカの兄弟」の歌を聞いて—群れを つくる原因とその形を探る							
				ガラス面をのぼる結晶の秘密							
	2位	愛知県	刈谷市立刈谷東中学校	歌舞伎の雪はなぜ三角紙片を降らせ るのか	世古口裕 ほか6人	2位	宮城県	県立小牛田農林高校	栗駒山世界谷地第五湿原の自然—その 植生・地形ならびに土壌分析	学芸部生物班・林英夫 ほか7人	
第28回 1984年	1位	富山県	上市町立上市中学校	郷土の湧き水の研究—霊水といわれ る穴の谷の水について	科学部・原田達哉 ほか 44人	1位	長野県	県立長野西高校	日本最高所に群生するゲンジホタルの生 態学的研究	浅岡美香 ほか29人	
	2位	広島県	世羅町立世羅西中学校	スイレンの研究	粟藤雅紀 ほか2人	2位	山形県	私立米沢中央高校	西吾妻・松川の鉍毒水	科学部・片倉和彦 ほか 11人	
第29回 1985年	1位	岩手県	岩手大学教育学部付 属中学校	色素の研究	館沢治 ほか17人	1位	山形県	県立酒田西高校	肘折カルデラ起源の火砕流における異質 陽辺	地学部・佐竹奈津枝 ほか28人	
	2位	秋田県	仲仙町立中仙中学校	止水生のトビゲラの分布と生態—特に 巣作り行動について—	科学部・熊谷和樹 ほか 9人	2位	静岡県	浜松市立高校	全国第二位の汚染湖佐鳴湖の浄化をめ ざして	生物クラブ・井島えみ子 ほか5人	
第30回 1986年	1位	愛知県	刈谷市立伊佐美中学校	水面に映る影の不思議	科学部・藤井裕介 ほか 17人	1位	大阪府	大阪市立都島工業高校	竹ゼミの研究	理科研究部・中村吉秀 ほか20人	
				江戸千代紙の研究					円板とフリスビーのとび方		

日本学生科学賞 学校賞歴代受賞学校一覧(第2回～45回)

受賞年度	中学の部					高校の部					
	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	
				ゴカイの研究							
	2位	山形県	市立第三中学校	アリジゴクの巣に関する物理学的研究	科学部・斉藤健児 ほか20人	2位	佐賀県	県立伊万里高校	カプトガニの産卵とその行動について	生物部・平野昌利 ほか19人	
第31回	1987年	1位	富山県	氷見市立北部中学校	タンポポの研究—開花の時に倒れた花茎が再び直立してくるのはなぜか	科学クラブ・辻本政徳 ほか24人	1位	岐阜県	県立吉城高校	朝霧と冷気湖 飛騨の朝霧の研究PartⅢ	地学部・佐竹奈津枝 ほか28人 奥田弘幸 ほか32人
		2位	徳島県	脇町立脇町中学校	太陽系黒点の観測—十一年間の継続観測から黒点の活動を分析する	大谷分校・三好卓 ほか4人	2位	長崎県	鶴鳴女子高校	ヤブガラシの研究	生物部・吉田美由紀 ほか9人
第32回	1988年	1位	秋田県	大曲市立大曲中学校	ヘモグロビンについてⅡ	科学部・石河大介 ほか3人	1位	福島県	県立福島女子高校	梅酢と銅酸化物との反応	化学部・小平有子 ほか20人
		2位	栃木県	宇都宮市立宮の原中学校	逆立ちゴマのメカニズム	科学部・吉田佐和子 ほか11人	2位	長崎県	県立長崎北陽台高校	ヤドカリの殻選び	生物部・藤田潔 ほか9人
第33回	1989年	1位	栃木県	宇都宮市立雀宮中学校	霧柱に関する八つのテーマについて考察する	科学部・石河孝之 ほか12人	1位	新潟県	県立長岡大手高校	溪流で産卵するカジカガエルの研究	生物部・高橋真一 ほか16人
		2位	茨城県	つくば市立谷田部中学校	大気汚染への提言	科学部・林佳代子 ほか35人	2位	京都府	私立成安女子高校	オシロイバナの開花に関する研究 緑色野菜をゆでる時、食塩を入れるとなぜ色がよくなるか	生物部研究二点・船山香里 ほか6人 生物部 ほか5人
第34回	1990年	1位	岐阜県	岐阜大学教育学部付属中学校	導管のねじれの研究	自然クラブ・可児志介、楊駿華	1位	長崎県	県立諫早農業高校	諫早湾に自生するハマツナの研究	理科部・伊藤謙太郎 ほか9人
		2位	栃木県	宇都宮市立旭中学校	流水にできる波紋の研究	科学部・吉永明弘 ほか47人	2位	群馬県	県立桐生南高校	桐生川の水質第Ⅵ報	科学部・松本智津留 ほか10人
第35回	1991年	1位	岡山県	岡山市立福南中学校	低温でのサザンカの葉の変形	科学部・松島敬介 ほか3人	1位	東京都	私立工学院大高校	水ロケットの研究	自然科学部・古川基直 ほか10人
		2位	神奈川県	川崎市立野川中学校	セイヨウタンポポとカントウタンポポの生育条件を探る	松田昭男 ほか10人	2位	熊本県	県立松橋高校	ビタミンCのつくるおもしろい同心円模様	化学部・橋本良 ほか3人
第36回	1992年	1位	愛知県	刈谷市立朝日中学校	草笛の研究	本間浩一郎 ほか2人	1位	大阪府	大阪市立都島工業高校	パネ電話—パネを伝わる音の研究 水笛の研究	理科研究部・前島慎司 ほか17人
		2位	福井県	福井大教育学部付属中学校	メダカの生活となわばりの研究—1988年から1992年の5年間のまとめ— 経ヶ岳火山・岩屑流堆積物上の巨礫の研究Ⅲ	平井亜紀、吉沢千絵子	2位	山口県	私立三田尻女子高校	絶滅？サルが危ない！山口県におけるニホンザルの生態について	自然研究部・ワンダーフォーゲル部・飯田はるな ほか30人
第37回	1993年	1位	秋田県	仙南村立仙南中学校	コンクリート池のプランクトン相の特徴とその移り変わり	科学部・高橋智晴 ほか7人	1位	静岡県	県立三ヶ日高校	湖で繁殖するムクドリ	科学部・曾田剛史 ほか9人
		2位	愛媛県	愛媛大教育学部付属中学校	植生からみた戦災による城山樹林焼失範囲の推測	理科部・斉藤剛 ほか2人	2位	新潟県	県立新井高校	降ってくる星物質・宇宙塵を求めて—降下球粒物質の研究Ⅲ	地学部・中村岳夫 ほか17人
第38回	1994年	1位	栃木県	宇都宮市立宮の原中学校	間欠泉の謎(なぞ)を追って	科学部・福田崇 ほか7人	1位	大阪府	私立堺女子高校	メダカがABSに強くなる物質の研究	冷水志帆
		2位	新潟県	出雲崎町立出雲崎中学校	行動と生態を中心とした海岸砂丘に生息するアリジゴクの研究第2報	科学部・早川栄二 ほか5人	2位	長崎県	県立長崎北陽台高校	ハママツナの研究—第3報—	生物部・磯田智之 ほか6人

日本学生科学賞 学校賞歴代受賞学校一覧(第2回～45回)

受賞年度	中学の部						高校の部				
	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	順位	都道府県	学校名	研究名	代表者	
第39回 1995年	1位	愛知県	刈谷市立富士松中学校	液滴の蒸発の研究	田代由美子 ほか3人	1位	滋賀県	県立膳所高校	粘渦の研究 I	物理・地学班・川添大輔 ほか9人	
	1位	愛知県	刈谷市立富士松中学校	液面で固まるロウの研究	野々山明佳 ほか3人	2位	沖縄県	県立八重山高校	石垣島におけるツマグロゼミの生態 V	生物部・前盛義文 ほか23人	
	2位	新潟県	神林村立平林中学校	飼育でわかったチョウセンコブムシの生態についての研究—淡水産コブムシの研究—	田中洋子 ほか10人						
第40回 1996年	1位	広島県	広島市立八本松中学校	陸上ランソウ類の研究(第二報) 故郷の松枯れを追って(第二報)	伊藤健二 ほか3人 山下貴之 ほか12人	1位	岡山県	県立玉野高校	セイヨウアサガオ”ヘブンリー・ブルー”の開花と花の老化の研究	高橋裕司	
	2位	栃木県	宇都宮市立旭中学校	容器の内側にできるくもりの研究 II	渡辺敦 ほか9人	2位	長野県	県立伊那弥生ヶ丘高校	食塩の結晶づくりの研究 伊那谷における火山噴出物の研究	春日章 ほか3人 長崎雄一郎 ほか5人	
第41回 1997年	1位	新潟県	長岡市立宮内中学校	溪流に生息するシアマメンボの疑問 II	科学部・今井亜紀江 ほか6人	1位	岐阜県	県立加茂高校	1996年7月5日美濃加茂市で発生した竜巻	気象天文部・前田寅彦 ほか17人	
	2位	秋田県	横手市立鳳中学校	肩にくいこむリュクササッカー流行?それとも快適さ?—	滝麻里子 ほか13人	2位	北海道	札幌市立北海道札幌藻岩高等学校	美々川水系の水生植物	フィールドサイエンス部・石川高志 ほか11人	
第42回 1998年	1位	東京都	私立立教中学校	カタクリ粉の音発生に関する研究	生物部	1位	岐阜県	県立吉城高校	飛騨における自然放射線の研究	地学部	
	2位	愛知県	刈谷市立刈谷南中学校	光り輝くガムテープ 和弓の研究	理科部 理科部1年生班	2位	青森県	県立三戸高校	コウモリ類の冬眠状況の変化からみた青森県三戸地方の自然度の低下	自然科学部	
第43回 1999年	1位	広島県	広島工業大付属中学校	ネマトーダの研究—イチゴに寄生している移動性線虫を中心にして	菊川陽子	1位	富山県	私立高岡龍谷高校	クロサンショウウオの成長と移動	理科部	
	1位	広島県	広島工業大付属中学校	淡水魚の海水への適応について 第3報	科学クラブ	2位	広島県	私立広島学院高校	二酸化チタン光触媒による水質の浄化	化学部	
	2位	滋賀県	甲南町立甲南中学校	カブトエビの研究 II『甲南町にカブトエビがいないのはなぜか』	科学部						
第44回 2000年	1位	富山県	富山大学教育学部附属中学校	4本足のチョウの研究—ジャノメチョウ科—	若林祐介	1位	宮城県	県立気仙沼西高校	海藻ホソジズモの成長におよぼす海水の動きと塩分濃度の関係	自然科学部・小坪優子 ほか10人	
	2位	岐阜県	岐阜大学教育学部附属中学校	本当に正しいの?カワゲラウオッチング	梶浦光太郎	2位	岐阜県	県立郡上高校	個体識別したオオサンショウウオの行動の追跡による生態の解明	広瀬佑介 ほか14人	
第45回 2001年	1位	大阪府	大阪教育大学教育学部附属天王寺中学校	クモの生活—コガネグモ科の生存戦略—	西野真由子	1位	新潟県	県立長岡大手高校	ヨモギの虫えいに関する研究	生物部	
	2位	千葉県	千葉市立天戸中学校	紙風船～たたいもつぶれずに膨らむのはなぜか～	科学部・竹田光良 ほか4人	2位	愛媛県	県立松山南高校	酵素を見つけろ!	化学部	

日本学生科学賞 学校賞歴代受賞学校一覧(第46回～)

受賞年度		中学の部		高校の部	
		都道府県	学校名	都道府県	学校名
第46回	2002年	愛媛県	城辺町立僧都中学校	千葉県	県立船橋高校
第47回	2003年	-		埼玉県	県立松山高校
				埼玉県	県立三郷工業技術高校
第48回	2004年	愛媛県	愛南町立僧都中学校	埼玉県	県立浦和第一女子高校
第49回	2005年	愛知県	刈谷市立雁が音中学校	-	-
第50回	2006年	熊本県	上天草市立阿村中学校	-	-
第51回	2007年	愛知県	刈谷市立刈谷東中学校	静岡県	県立浜松北高校
				愛媛県	県立新居浜西高校
第52回	2008年	沖縄県	南風原町立南風原中学校	埼玉県	県立越谷北高校
第53回	2009年	秋田県	由利本荘市立出羽中学校	埼玉県	県立蕨高校
第54回	2010年	新潟県	魚沼市立小出中学校	大阪府	私立清風高校
第55回	2011年	岩手県	岩手大学教育学部附属中学校	滋賀県	県立膳所高校
第56回	2012年	岐阜県	可児市立中部中学校	愛媛県	県立長浜高校
第57回	2013年	福井県	福井市立社中学校	埼玉県	県立川越女子高校
第58回	2014年	奈良県	奈良女子大付属中等教育学校	埼玉県	県立大宮高校
第59回	2015年	東京都	八丈町立三原中学校	広島県	広島大学附属高等学校
第60回	2016年	千葉県	千葉市立稲毛高等学校附属中学校	静岡県	県立磐田南高校
第61回	2017年	東京都	都立小石川中等教育学校	山口県	県立山口高等学校